

高校生のための「超」教養講座 Q & A

講座No. 26 「携帯電話の不思議を探る」を視聴して以下の問いに答えなさい。

Q1 19世紀の末、携帯電話のもとになる無線通信技術を発明したイタリア人は？

()

Q2 2011年1月。現在、私たちは、主に「第何世代」と呼ばれる携帯電話を使って通話や情報をやりとりをしているのか。

()

Q3 第2世代の携帯電話がそうであったように、日本独自に進化し、必ずしも世界中ではその商品や技術、サービスが使われない現象を何という。

()

Q4 同じ周波数の電波を、多くの基地局が使う際、何か大きな問題となる？

()

Q5 アンテナを複数使い、電波の状況に合わせて切り替える通信技術を何と言う。

()

Q6 携帯電話のネットワーク上で、電話機がどこにいるかという情報を記憶（位置登録）しているところは何？

()

Q7 セルサイズは都市部では() 郊外では()。カッコを埋めよ。

() / ()

Q8 ネットワークにいつでもつながっている社会のことを何と言う？

()

高校生のための「超」教養講座 Q & A

講座No. 26 「携帯電話の不思議を探る」 Q&A の正解。

- A1 マルコーニ
- A2 第3世代
- A3 ガラパゴス化
- A4 電波の干渉
- A5 ダイバーシチ（受信）
- A6 ホームメモリ局
- A7 小さい（狭い） / 大きい（広い）
- A8 ユビキタス（社会）